

巡礼の道

五社街道をくくくまっぴ



弘法大師 空海は天長三年(826年)仁井田大明神の境内の五つの社にそれぞれ本地仏を祀り神仏習合の福田満寺を創建し 四国霊場の礼所を開いたと伝えられています。今も巡礼の道である遍路道にたまたま五社まで三里と記されている。五社への船渡し案内などが刻まれており、お遍路さんと当時の礼所、五社、福田満寺へと導いています。

安産や子どもの護り神
五社のお庭の桜 折一枝はしづみ

五社広大図

- 一の宮 東大宮 不動明王
- 二の宮 今大神宮 観世音菩薩
- 三の宮 中ノ宮 木花之開耶姫
- 四の宮 今ノ宮 阿彌陀如来
- 五の宮 森ノ宮 薬師如来
- 地藏菩薩



大日さま
仁井田の五社で待ちよう
あとの五社へ
追いつけや
あとの五社へ
あとの五社へ

五社
高岡神社

五社
高岡神社

五社
高岡神社

五社
高岡神社

五社
高岡神社

五社
高岡神社

五社
高岡神社

五社
高岡神社

五社
高岡神社